

一般質問

※用語解説

一般質問は11月30日、12月3日および4日の3日間、20人の議員によって行われました。質問は、まちづくりや福祉に関するものをはじめ、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。(質問者の文言により、質問と答弁の要旨を掲載)



民 政 会 諸 星 光

都市計画税を近隣市並みに引き下げよ

一 都市計画税について

問 本市の都市計画税は、近隣市と比較すると税率で0・05%高い。国の景気判断や健全な財政運営を図るために税率を近隣市並みに引き下げの考えはあるか。

答 財政状況が大変厳しい中、都市基盤整備にも影響が出るため、現状の税率を維持したい。

二 国民健康保険財政について

問 現在の国民健康保険財政は、大変ひっ迫しているが、現状と将来予測はどのようか。

答 増大する医療費に伴う財源確保が不十分で収支のバランスが崩れている。将来見込みも加入者の高齢化や医療技術の高度化により医療費の増加が予測される。



公 明 党 横 山 むらさき

社会全体で子育てを支援する 新たな支え合いの構築を

一 子どもの幸せ施策について

問 子ども・子育て関連3法が成立したが、子ども・子育て支援法で努力義務化されている地方版子ども・子育て会議を設置することにも現場ニーズを反映した無駄のない計画を策定する考えはあるか。

答 社会全体の中で子ども・子育てを支援する会議の設置を検討する。また、計画のための実態調査などについて国の動向を注視し、必要な時期に予算確保に努めたい。

問 はだのこども館の子ども支援機能充実や再配置の考えはどうか。

答 公共施設再配置計画で再編調
問 医療費抑制の取り組みと特定健診・特定保健指導の実施状況はどうか。
答 レセプト点検の強化やジェネリック医薬品の使用拡大に努めている。平成23年度の受診率は、約30%で県下の平均を超えているが、今後も受診率向上に取り組みたい。
三 今、求められている学力について
問 新学習指導要領は生きる力をはぐくむことを目的としているが、どのように取り組んでいくのか。
答 子どもの生きる力をはぐくむ理念のもと、さまざまな手法を取り入れ知識や技術を習得するとともに、思考力や判断力、表現力、また、学習に取り組む態度を身に付ける取り組みを進めていきたい。



民 政 会 古 木 勝 久

農業振興地域と隣接する住環境の調和を目指せ

一 南地区の臭気対策について

問 南地区の畜産施設などから発生している臭気に対し、市に改善要望があり、陳情のほか南地区市政懇談会でも要望や意見があったが、この地域は悪臭防止法による規制区域なのか。また、今後の施設への指導はどうか。

答 農業振興地域のため、悪臭防止法の適用外である。また、新たな臭気改善策が臭気の低減、抑制に効果が見られるため、この取り組みを踏襲していきたい。

問 畜産農家ではない第三者が堆肥化施設で作業しているが、問題はないか。

答 施設の管理運営は堆肥化利用組合で行っており、問題はない。

問 文化財保護委員会の意見を聞きながら、その基礎となる準備作業に取り組みしていきたい。



新 政 倶 楽 部 川 口 薫

クリーンセンター周辺における歩行者の安全確保を

一 クリーンセンター周辺のまちづくりについて

問 市道63号線は、通勤・通学のほか、弘法山の登山者も多く利用しているが、作業車両の増加による歩行者の安全確保はどうか。

答 歩行者の安全確保を図るため、歩道の拡幅整備を実施している。

問 クリーンセンターの余熱を利用した利便施設の進捗はどうか。

答 これまで4回の利便施設検討委員会を開催している。今後は、用地取得や施設内容について、より具体的に検討していきたい。



民 政 会 八 尋 伸 二

コスト意識の向上を図り 財政難を乗り越えよ

一 コスト意識改革について

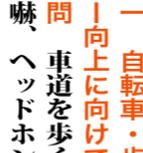
問 共通消耗品(20品目)以外の文房具や消耗品の購入方法はどうか。

答 各課などで購入しているが、購入の判断は隣接する部署の在庫を確認し、相互利用を積極的に図った上で、不足した場合に購入するように経費削減を図っている。

問 各職場の机に使われていない文房具という埋蔵金が眠っている。民間企業で実施していることだが、この文房具類を1つの

購入の判断は隣接する部署の在庫を確認し、相互利用を積極的に図った上で、不足した場合に購入するように経費削減を図っている。

購入の判断は隣接する部署の在庫を確認し、相互利用を積極的に図った上で、不足した場合に購入するように経費削減を図っている。



無 所 属 折 口 隆 二 郎

さらなるジェネリック医薬品の普及促進を

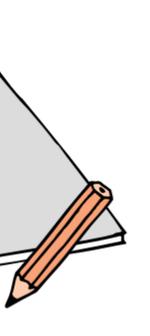
一 自転車・歩行者の通行のマナー向上に向けて

問 車道を歩く人や、ベルでの威嚇、ヘッドホンの着用、歩道の走行などの自転車走行者へのマナー向上の取り組みはどうか。

答 警察と連携し、駅周辺で自転車走行者への声掛けなどを行っている。また、反射材の着用については、利用促進に取り組んでいきたい。

問 現在の啓発用ポスターを新聞紙大ほどに大きくできないか。

答 交通安全指導員の増員による高齢者の交通安全対策の強化や、



小さなところから経費削減の意識を

問 正規・非正規職員の定員管理は実施されているのか。
答 毎年度、組織点検調査に基づき各課とのヒアリングを実施している。非正規職員は任用期間、勤務時間数や職務内容をヒアリングし、実態の把握に努めている。
問 今後、定員管理のガイドラインを策定する計画はあるのか。
答 国の制度改革や社会情勢の変化に正規・非正規職員への教育の充実についても取り組んでほしい。
問 ポスターの拡大は掲示場所に限りがあつたため、市民の目を引くような工夫をしていきたい。また、窓口交付時には内容を説明し、利用促進に努めていきたい。
問 電子レセプトを活用し、ジェネリック医薬品に変更した場合の差額通知を発行し、薬剤費の削減を図ってほしい。
答 平成24年8月に、300円以上の差額が生じる国民健康保険加入者に対し、差額通知を発行した。今後も、調査・研究し、薬剤費の削減に努めていきたい。
問 12月議会での退職金削減案の結末はどうか。
答 人事院の退職金実態調査の結果、国家公務員の退職金は民間企業を400万円程度上回る。平成24年3月に公表された。国は退職金削減の方針を固め、本市もそれに準って準備をしていたが、国家公務員の退職金削減法案の可決が、衆議院解散当日の11月16日にずれ込んでしまった。本市は近隣各市の動向を見定める中で検討